

ウーロンゴン大学・留学報告書

学部学科・研究科専攻	体育学研究科体育学専攻		留学時学年	1年
留学先	国	オーストラリア	大学/機関	ウーロンゴン大学
期間	2026年 2月 21日 ~ 2026年 3月 21日			
	短期 ・ 中期 ・ 長期 ※○で囲んでください。		計 1 ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数：80 時間
 - 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：English Language Program
- 【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
8:30~12:30	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

クラスは15名程度で、日本人と中国人の学生が在籍していました。担当教員はオーストラリア人の先生2名で、授業では英語学習に加えて、オーストラリアの文化や社会、現地ならではの知識について学ぶ機会もありました。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

放課後は、さまざまなビーチを訪れ、現地の自然や生活環境に触れながら過ごしていました。週末にはホストマザーと一緒に外出し、ボートやハイキングなどの活動を通して、オーストラリアの自然や文化をより深く体験することができました。

[4] よく利用した施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

図書館とスポーツ施設をよく利用しました。図書館では自習を行い、スポーツ施設ではピラティスをして過ごしていました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：



[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

海が近く、ほぼ毎日ビーチを見ることができたことです。また、多くの友人ができ、ホストマザーとも仲良くなることができました。

● 苦労したこと：

電車やバスの本数が少なく、待ち時間が長かったことです。住んでいた場所も少し遠かったため、移動に時間がかかりました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

毎日授業で英語を使い、帰宅後もホストマザーと英語で会話をしていたため、日常会話の英語力が大きく向上したと感じました。また、授業や日常生活を通して、オーストラリア英語の表現や発音にも触れることができました。

2) 専門知識の向上：

授業では、オーストラリアの動物について学んだほか、木曜日には動物園を訪れる活動もあり、実際

に見て学ぶことができました。また、オーストラリアの発明、6つの州と2つのテリトリー、移民の歴史などについても学び、オーストラリアに関する理解を深めることができました。

3) 自己成長など：

オーストラリアは中国や日本とは大きく異なる国であり、留学を通して自分の視野が大きく広がったと感じています。新しい環境の中で自分で考えて行動する力や適応力も高まり、今後の学習や将来の国際的な交流にも生かせる貴重な経験になりました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

ホームステイ先を選ぶときは、できるだけ学校に近い場所を希望するとよいと思います。ウーロンゴンは電車やバスの本数が少なく、住む場所が遠いと毎日の通学が少し大変だからです。また、現地の生活は全体的にゆったりしているので、あまり焦らず、ホリデーを楽しむような気持ちで過ごすと、より充実した留学生活になると思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	750,000
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費・ホームステイ代など)	0
4	教材費		0
5	保険代		0
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		34,000
7	個人的な買い物		20,000
8	その他()		0
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)		804,000
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)		804,000



